

# 美波町橋梁長寿命化修繕計画

## 2018年度 改訂版

1935年（昭和10年）架設 2019年現在で橋齢84歳



一ノ坂橋

1978年（昭和53年）架設 2016年に修繕対策を実施




内ヶ磯橋

徳島県海部郡美波町

建設課

～海・山の恵みを活かし知恵と心でつくるまち～

 美波町

## 美波町の橋の現状

美波町では、2018年度時点で209橋の橋を管理しています。こうした橋の多くは、高度経済成長期に建設されており、今後、急速に橋の高齢化が進むことが予想されます。

図-1には、美波町内で管理している209橋について、建設から50年以上<sup>注1</sup>が経過した橋の割合の推移を示しています。この図からは、2018年時点で建設から50年以上が経過した橋の割合が20%であるのに対して、30年後には76%の橋が建設後50年以上を経過することになり、橋の高齢化の割合が一段と進行することが分かります。

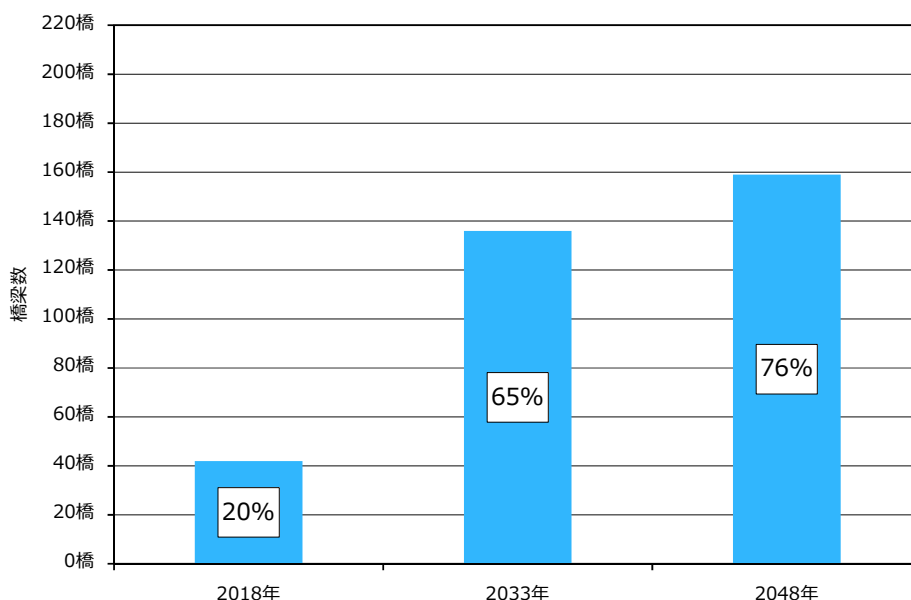
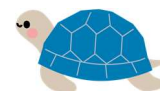


図-1 建設から50年以上が経過した橋の割合の推移

こうしたことから、高齢化した橋の安全性や信頼性を確保するためには、橋の修繕・架替えに係る費用の増大が見込まれます。

このため、今後、橋の維持管理においては、橋を出来るだけ長持ちさせて、合理的で効率的な維持管理を行うことにより、可能な限りコスト縮減に取り組むことが不可欠です。

注1 従来の一般的な橋の寿命は、50年～60年とされています。



## 橋梁長寿命化修繕計画とは？

美波町では、これまで橋の損傷が大きくなってから修繕を行ってきましたが、今後は損傷が小さいうちに修繕を行い、修繕の費用や架替えに要する費用の縮減に努めつつ、地域の交通ネットワークの安全性・信頼性を確保していきます。

そのため、美波町では、これまでの『対症療法的な維持管理』から、損傷が大きくなる前に早めに手当てをする『予防保全的な維持管理』へ移行することで、将来にわたる維持管理・更新(架替え)コストの最小化および橋の安全性・信頼性を維持することを目指した『橋梁長寿命化修繕計画』を策定しました。

表－1 維持管理手法

維持管理手法		
種 類	内 容	費 用
対症療法的 (従来の方法)	・大きな損傷になってから対策を実施 ・損傷によるダメージが大きいため、橋を長く使うことが難しい	多
予防保全的 (今後の方法)	・小さな損傷のうちに対策を実施 ・損傷によるダメージが小さいため、橋を長く使うことができる。	少

## 美波町の取組みの経緯

美波町では、2011年度に第1回橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいた修繕を行って、橋梁の長寿命化に取り組んできました。

また、2014年には道路法施行規則にて5年に1回の目視点検が義務化され、美波町においても定期点検を行っています。

そして、第1回橋梁長寿命化修繕計画から7年経過し、全ての橋の点検が完了しましたので、計画の見直しを行いました。



## 美波町の取組み例～橋梁点検・修繕対策～

橋梁点検は、点検車等を利用して橋全体を近接目視で行っています。点検には通行規制が必要になる場合もあり、住民の方の協力を頂きながら行っています。そして、点検で確認された損傷に対して修繕対策を行い、橋梁の長寿命化に努めています。



点検車を利用した橋梁点検



点検



修繕



修繕対策の例（鉄筋の露出箇所を断面修復）

## 対象橋梁

2018年度では、管理している橋を対象に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、今後は計画的な修繕などの対策を実施していきます。

表-2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	209			209
うち計画の対象橋梁数	209			209
うちこれまでの計画策定橋梁数	7	2	23	32
うち平成30年度計画策定橋梁数	7	2	200	209
○長寿命化修繕計画の対象 : 美波町が管理する全ての橋				
○2011年度計画策定橋梁 : 32橋（防災計画上の重要橋梁）				
○2018年度計画策定橋梁 : 209橋				



## 対策内容と実施時期

美波町では、定期点検を行った結果、早めに修繕対策を行うことが望まれる橋があります。長寿命化修繕計画は、これらの橋の修繕を優先的に行う計画としており、2019年度から対策に取り掛かる予定です。

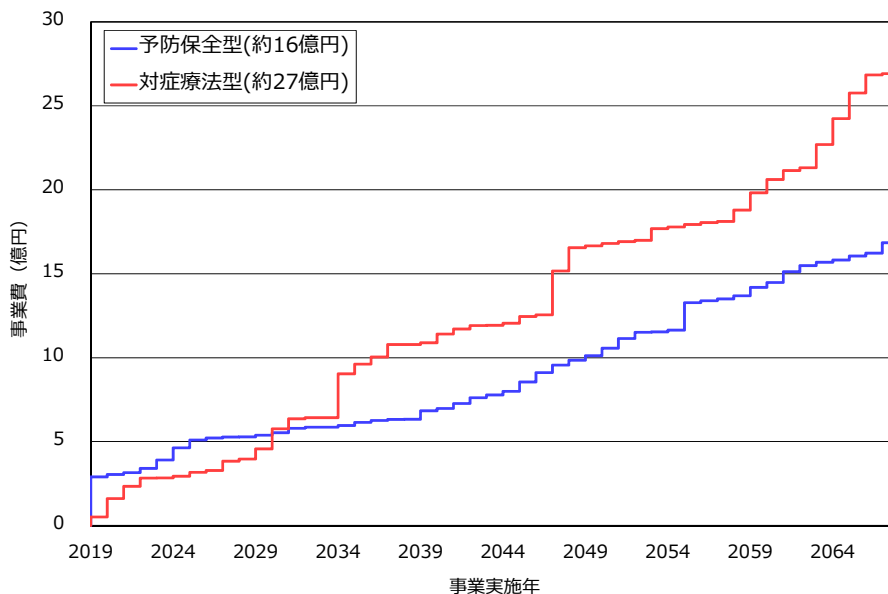
表－3 修繕計画

	2019～2024年度
修繕対策橋梁数	9 橋
主な対策内容	塗替塗装、コンクリート補修 等
橋梁定期点検	5年に1サイクルで実施

※上記の計画は、今後の点検結果、財政状況によって変更となる可能性があります。

## 橋梁長寿命化修繕計画による効果

本計画を実施することで、橋を出来る限り長持ちさせることを目標としています。これにより、今後 50 年間においては、橋を維持する費用が約 27 億円から約 16 億円で節約できるとの試算となり、大幅なコスト削減を図ることができると期待されています。



図－2 累積事業費の比較



## 策定会議の開催

本計画の策定にあたり、学識経験者の方から意見を頂戴しました。

### 意見を頂いた学識経験者

阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース  
笹田 修司 教授

### 策定会議の開催



第 1 回会議  
2018 年 12 月



第 2 回会議  
2019 年 2 月

### 計画策定担当部署

〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村 18-1

美波町 建設課

TEL : 0884-77-3618

Mail : kensetsu@minami.i-tokushima.jp

～海・山の恵みを活かし知恵と心でつくるまち～

